

令和3年度

京都市立醍醐中学校

# 学校だより

第5号

令和3年7月1日 文責 林



## 発想の転換

6月20日（日）に緊急事態宣言は解除されましたが、引き続き「まん延防止等重点措置」がとられています。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せません。これからもマスクの着用や手洗いの励行、「3密」の回避など感染予防対策を徹底していく必要があります。学校教育活動も大きな制約を受けていますが、できることをできる範囲で進めています。保護者の皆様、地域の皆様にご理解、ご協力いただいていることに感謝申し上げます。

さて、先日の新聞を見ていると植物の光合成についての記事がありました。その記事によると植物は成長に欠かせないデンプンなど有機物を生産するために二酸化炭素( $\text{CO}^2$ )と水を使って、そして、太陽光を浴びて光合成を行っています。光合成により有機物を合成し、酸素を発生させます。なぜ、二酸化炭素が光合成に使われているのかと記事は疑問を提示しています。記事を読み進めると太古の地球上には、炭素のほとんどが二酸化炭素という形でしか存在していなかったこと、地球大気の主成分は二酸化炭素と窒素でエネルギー源として便利な有機物などほとんどなかったことを理由として挙げています。当時の地球は、生物にとって過酷な環境だったようです。そこへ登場した藻類の一種が酸素を出す光合成を初めて行ったそうです。仕方なく二酸化炭素を利用した光合成が地球に酸素や有機物をもたらし、多様な動植物による生態系が生まれたことになります。ですから現在の豊かな地球環境は、光合成の誕生という極めて幸運なできごとの上に築かれたと言えると記事は結ばれています。

この記事を読んで、光合成という植物の営みが、さまざまな物質に恵まれた環境ではなく不足の極みのような環境で始まったことに驚かされると同時に、自分の行動にもこの発想が取り入れられるのではないかと考えさせられました。不足の状況を悲観するのではなく発想を変えることで光が差し込むことがあるのではないかということです。現在、さまざまな場面でコロナ禍により制約を受けています。しかし、例えば一人一人にタブレットが準備され、GIGAスクール構想が進んでいます。タブレットを使ってオンラインで他者とつながったり、他者に自分の意見を発信することもできます。新しい発想で、「ピンチをチャンスにかえる」ことは可能なのではないでしょうか。中国の老子は「足るを知る者は、富む」という言葉を残しています。

## お知らせ

6月20日（日）に緊急事態宣言が解除されたことを受けて、今年度は保健体育の授業で水泳授業を実施することになりました。水泳授業の実施にあたっては、生徒の皆さんのがんばりを十分留意するとともに、更衣場所については少人数の利用にとどめ、利用の前後には手洗いを徹底する、プール内では密集しないよう一斉に大人数が入らないようにするなど感染対策を徹底いたします。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

6月1日（火）より、部活動が再開されています。それに伴い、京都市中学校選手権総合体育大会（夏季大会）は感染対策を徹底して実施することになりました。6月19日（土）の陸上競技を皮切りに競技が始まりました。大会の開催にあたっては、感染対策を徹底するため、全競技、全会場で無観客開催とされています。応援等楽しみにされていた保護者の皆様には残念なお知らせとは存じますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



(裏面もご覧ください)

## 2年生 醍醐寺鑑賞授業

6月4日（金）に2年生の醍醐寺鑑賞授業を醍醐寺靈宝館で実施しました。京都市教育委員会「京都芸術教育研究事業」の一環です。醍醐寺様の全面協力のもと、「醍醐寺所蔵 五大明王像」を間近で見て鑑賞授業を行いました。普段は、五大明王の間近まで行けませんが、特別に許可していただきました。

コロナウイルス感染症対策だけでなく、近寄って息が木像にかかるないように、全員マスクを着用して行いました。

気づいたことや疑問点を出し合い、それについて僧侶の方や学芸員の方に解説をしていただきました。ネットや写真では味わえない「場の雰囲気」も感じてくれたと思います。

醍醐寺の僧侶の方々、学芸員の方々ご協力ありがとうございます。



## 生徒総会



6月9日（水）の5、6限目に生徒総会をオンラインで行いました。いきいき交流ルームをメイン会場にして、各教室にZOOMで配信しました。

生徒総会は、生徒が一堂に会して開催する重要な学校行事です。生徒会本部の皆さんのが中心になり、全校生徒がさまざまな議題を議論する行事で、民主主義を体現する貴重な機会になります。本来なら体育館に全校生徒が入って開催したかったのですが、コロナ感染対策のためにオンラインでの開催になりました。

校歌を静聴して始まりました。そして、まず生徒会本部からに基調提案がありました。その中で今年度の生徒会スローガンである「挑」についての説明などがされました。続いて、各委員会からの活動方針・活動計画の説明がありました。どの委員会も新たなチャレンジを盛り込んでくれました。生徒会予算の説明等も行われました。

次に「学校改善計画」について話し合われました。各クラスより学校生活で困っていることとその解決策の提案がありました。各クラスからの提案は、今後各種委員会やリーダーズプロジェクト等で討議されます。醍醐中学校をさらによくするように討議されることを願っています。

最後に、各クラスの学級旗の紹介がありました。どのクラスとも趣向をこらしての発表で見ごたえがありました。

## 第2回定期考查

6月23日（木）から25日（金）までの3日間、第2回定期考查が実施されました。生徒の皆さんには、真剣な表情で集中して問題に向きあっていました。教室内には、鉛筆を走らせる音だけが響いていました。

テストが返却された時に点数だけに一喜一憂するのではなく、できたところとできなかったところを整理して、できなかったところを中心に見直しを進めてください。